



総務省

Ministry of Internal Affairs
and Communications

地域人材ネット

脱炭素・サステナブル・SDGs まちづくりを推進

曽根 進

(

そねすすむ

)

NPO法人エコリテラシー協会 、 well f.m.一般社団法人 理事



○ 登録者情報

所在地

東京都

略歴

- ・1998年明治大学卒業後、株式会社JTBで長野・横浜で勤務後、2014年より内閣府地方創生推進事務局併任内閣官房産業遺産の世界遺産登録推進室にて、地方創生、明治日本の産業革命遺産の世界遺産登録、ジオパーク、企業版ふるさと納税、国家戦略特区、総合特区等、公務・政務業務に従事。その後、民間の立場で、全国横断的に地方創生、SDGs、サステナブル・ツーリズム、企業版ふるさと納税、脱炭素まちづくり、洋上風力地域共生などを推進。
- ・2019年国土交通省海事局海事観光推進協議会WG委員、国土政策局奄美群島成長戦略プロジェクト有識者委員、持続可能な観光まちづくりのあり方に関する調査検討委員会有識者委員
- ・2021年内閣府地域活性化伝道師、2023年内閣府地方創生SDGs課題解決モデル都市専門家
- ・民間の立場で、国・自治体・民間・教育機関のブリッジ(架け橋)となり、連携させる提案・実績含め、ベストミックスでの着地を常に想定して動くことが強みである。現在、NPO、社団法人、財団法人、株式会社、大学院にも所属しながら多方面で地方創生を推進している。
- ・政策学修士

著書・論文等

- ・「奄美群島の未来を担うワカモノ創生」人と国土/国土計画協会(2021)
- ・SDGs未来都市における観光分野の取組考察～環境関連政策の考察を通じて～／法政大学大学院(2023)

○ 脱炭素・サステナブル・SDGs まちづくりを推進

取組の内容

地域の未来を見据え、責任世代向けに、脱炭素・サステナブル・SDGsの社会実現のため、経済・社会・環境の三側面視点の「脱炭素・まちづくり・持続可能な観光」などを、ヒト・モノ・カネ・のベストミックスで地域創生に繋げていくことを実施しています。

1. 脱炭素まちづくり及び教育

脱炭素をキーワードとして、「環境・人にやさしいまち」をキャッチフレーズにした”グリーン領域による経済循環”を作ることや、地域に未来を支える責任世代を中心とした”ヒト”を対象に、脱炭素教育を実践。

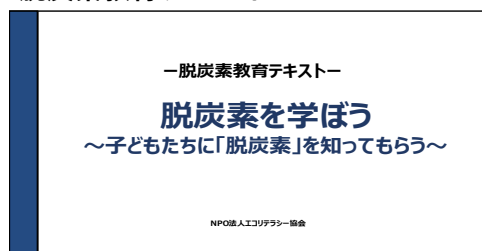
2. サステナブル・ツーリズムによる観光と環境の両立

観光を経済・社会・環境の三側面視点で整理・分類し、経済と環境の両立を軸に、政策提案・実行までをワンストップですすめている。

3. SDGs・サステナブル・脱炭素なコンテンツ造成

地域資源をSDGs・サステナブル・脱炭素な視点で観光資源化し、環境にやさしいまちとして、当該地域へ来訪者が訪れてみたくなるきっかけづくりをしています。

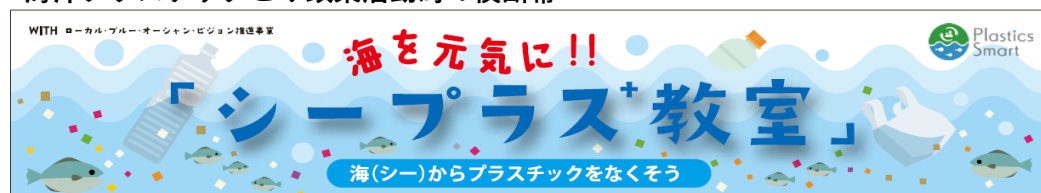
脱炭素教育テキスト



脱炭素教育授業風景



海洋プラスチックごみ政策活動時の横断幕



実績

- ①全国の高校・大学・民間企業、自治体等を連携した”産官学連携”をトータルサポート(2018年～)
- ②内閣府地方創生官民連携プラットフォームにおける分科会運営/内閣府(2019年～)
 - ・2019年～「観光を通じた地方創生のSDGs達成貢献」の分科会を運営、内閣府セミナーで発表
- ③企業版ふるさと納税を活用した民間資金導入についての支援/全国多数自治体(2019年～)
- ④脱炭素教育(2022年)
 - ・地域の持続性を担保させるため、地域内の教員・地域住民を対象とした脱炭素教育プログラムを実施後、地域が主体となって、小中学生を対象とした脱炭素教育を実践する流れを作り、持続可能な取り組みにしてい
- ⑤サステナブルな観光コンテンツ造成(2022年)
 - ・福岡県宗像市及び福岡市にて、サステナブル観光コンテンツ造成の講義・WS・視察等を実施。
 - ・栃木県那須・日光におけるSDGsコンテンツ造成事業において、講義・WS等を実施。
- ⑥最先端AI定点観測カメラ常設による、環境活動の数値化
 - ・国立研究法人と民間と協力し、最先端AI定点観測カメラで海岸漂着ゴミの解析・数値化を実施。
 - ・環境問題や関連事業を正確なデータをもとに課題や成果を可視化し、効果的な事業計画を策定。
- ⑦洋上風力における地域共生(2022年～)
 - ・2050年カーボンニュートラル実現のため、洋上風力地域で環境まちづくりを軸に地域創生を推進。
- ⑧環境省地域ぐるみでの脱炭素経営支援事業(2023年)
 - ・観光産業における脱炭素がコロナにより足踏みしていることから、環境省事業を活用し、地銀(福井銀行等)と連携して、温泉地の観光×脱炭素の啓蒙及び仕組み作りに奔走。
- ⑨環境省ローカル・ブルー・オーシャンビジョン事業(2023年)
 - ・大手企業と協働で、漂着ゴミをアップサイクルする体験「シープラス+教室」を子供たち向けに実施。
 - ・環境意識を子どもを入口に大人まで行動変容させる取り組みを実施するとともに、社会のシステムが変わる”3.5%の法則”を超える10%を達成させ、地域コミュニティの力を発揮・継続させた。

工夫した点や苦労した点

- ・脱炭素という、住民が中々自分事化できない領域を浸透させることを目標に、地域の方々(先生、住民等)が、地域の未来を支える子供たち向けに、咀嚼してわかりやすく伝える流れを作っていくことで、単発(単年度)な取り組みに終わらず、政策間連携を軸に、継続的な取り組みに昇華するよう取り組んでいる。
- ・環境×観光等の政策間連携事業は、自治体側の部署が違い、縦割りとなっていることが多く、庁内全体で推進していくことの難しさを、地域を主語にすることで解消していくことが難しいと感じている。

ひとことPR

地域の政策を単年度に終わらせず、持続可能な取り組みに変えていくために、産官学連携及び企業版ふるさと納税を活用した持続可能・SDGs・脱炭素のまちづくりなどを通じたアドバイスや、政策間連携に課題がある地域がございましたらお声がけください。

○ 参考

取組分野の分類

登録者の取組を12の政策分野に分類しています(複数の分野に該当するものもあります)。

1.地域資源を活用した地域経済循環	2.まちなか再生
○ 地場産品発掘・販路開拓	中心市街地活性化
6次産業化	空地・空家・空きビル・空き店舗等対策
経営資源の引継(事業承継等)・起業支援	商店街活性化
○ 地域中核企業等の支援	○ その他
その他	
3.生活機能の維持	4.環境保全・SDGs
地域医療・福祉	分散型エネルギーシステム
地域交通	○ 地球温暖化対策
集落機能の確保	○ 廃棄物・リサイクル対策
その他	○ その他 SDGs、脱炭素教育
5.防災減災・危機管理	6.観光振興・交流
建築物耐震化・長寿命化	○ DMOとの連携
地区防災計画	○ インバウンド対応
BCP	民泊・農泊
避難所運営	○ 地域おこし協力隊の推進
感染症対策	○ その他 環境×観光、観光サステナビリティ
その他	
7.関係人口の創出・拡大	8.移住・定住促進
○ 滞在・活動の場づくり	起業・事業承継等支援
○ 地域おこし協力隊の推進	空地・空家対策
○ 地域と関係人口の協働	地域おこし協力隊の推進
その他	○ その他 ワークेशन、ジョブケーション
9.少子化対策、子ども・子育て支援	10.地域づくり人材の育成・教育
結婚・出産・子育て支援	○ 人材研修
働き方改革	○ ふるさと教育
子どもの貧困対策	○ 地域と教育機関の連携(高校魅力化・域学連携等)
その他	○ その他 脱炭素教育
11.自治体経営イノベーション	12.シティプロモーション・地域PR
財政マネジメント(公共施設管理・公会計整備)	○ 地域ブランディング
○ 官民連携(PPP・PFI)	○ メディア活用策
○ 自治体間連携	効果の把握・評価
住民参加	その他
○ EBPMに基づく政策立案	
その他	

関連ホームページ

NPO法人エコリテラシー協会	https://www.ecoliteracy.jp/
well f.m.一般社団法人	https://wellnesstourism.co.jp/

連絡先

メールアドレス	susu980173〔アットマーク〕gmail.com		
---------	-----------------------------	--	--

※メールを送る際には〔アットマーク〕を『@』に変えてください。